

第90回生命科学先端研究支援ユニット 学術セミナー

日時：平成28年7月19日(火) 午後4時から

場所：杉谷キャンパス薬学部研究棟II 7階セミナー室8

講師：児玉靖司 先生 (大阪府立大学大学院理学系研究科・教授)

演題：「放射線による小核形成とその運命について」

内容

小核は、染色体1～数本、または染色体断片を含む主核より小さな核であり、染色体分配異常や染色体切断によって誘発される。現在、小核試験は放射線を含めた環境変異原の検出系として多用されている。しかし、誘発された小核がその後どのような運命をたどるのかに関する情報は少ない。私たちはこれまでに、生きた細胞をそのまま観察するライブセルイメージングを用いて、X線により誘発された小核が再び主核に取り込まれる現象を観察している。取り込まれた小核が、主核のゲノムにどのような影響を与えるのかについて調べるために、小核にX線でDNA切断を誘起し、その小核由来染色体をレシピエント細胞に移入する実験により解析を進めている。最近の成果について紹介し、その生物学的意味について考察する。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またユニットの放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

庄司美樹 (アイソトープ実験施設長)

電話：076-434-7190

メール：shojim@cts.u-toyama.ac.jp



富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター
生命科学先端研究支援ユニット